

士別市ボランティアセンターだより ふれあい

● 発行 ●
 士別市ボランティアセンター
 士別市東5条3丁目
 サポートセンターしべつ
 士別市社会福祉協議会内
 TEL 22-3012
 FAX 22-3019

で愛 ふれ愛 かたり愛
ふれあい広場2017

In しべつ part 34

～あふれる笑顔 みんなが主役～

7月1日(土)～2日(日)

会場 士別市総合体育館・駐車場



来年冬は平昌(ピョンチャン)パラリンピック!
 ・アダプテッドスポーツ冬季種目紹介(展示・映像)
 ・アダプテッド(障がい者)スポーツ体験 など

学童生徒ボランティア



各学校ボランティア活動展
 お祭り広場・駄菓子販売・
 ゲームコーナー ほか

ふれあいステージ



幼稚園鼓笛隊・吹奏楽・
 児童館演技・よっちょれ
 ほか

ふれあいの店



うどん・そば・おでん・かき氷
 焼きそば・手打ちそば・たこ焼き
 福祉施設作品販売 ほか

体験の広場



アダプテッドスポーツ
 盲導犬体験(2日のみ)
 おもしろスポーツ科学館
 収集ボランティア ほか

●ガイドヘルプボランティアを行います!

障がいや高齢のため、移動が困難だけれど、会場に行きたい...という方のために、送迎と場内ガイドヘルプボランティアを行います。希望される方は事務局までご連絡ください。

●車いす無料清掃クリーニング

7月2日(日) 10:00～14:00に行います。
 お気軽にお越し下さい!



スケジュール

7月1日(土)	12:00～16:00
開会式	13:00～13:30
各イベント	12:00～16:00
ふれあいのタバ	17:30～19:00
7月2日(日)	10:00～15:30
各イベント	10:00～14:30
閉会式	14:30～15:30

申し込み・お問い合わせ

ふれあい広場実行委員会 事務局 士別市東5条3丁目 サポートセンターしべつ

TEL: 22-3012 FAX: 22-3019 E-mail: shibetsu-shakyo3@bz04.plala.or.jp

平成29年度 士別市福祉教育懇談会開催



5月15日、障がい当事者講師の会すぷりんぐ代表の牧野准子氏を招き、福祉教育懇談会を開催いたしました。

建築士・インテリアコーディネーターとして病院・住宅等のプランニングやまちづくりアドバイザーとして活動されていた牧野さんは、平成17年に進行性の脊髄難病を発症。障がいを持つようになり、車いすの生活が始まった。体が不自由になり今まで出来た事が出来なくなり、自己否定する事が多く精神的屈辱を味わう。夫婦間も些細な事で衝突して歯車が噛み合わなくなっていったが、くよくよしている姿を見せると家族が悲しむし、こんな自分は嫌だと気付き、道内各地での講演や自宅の住環境を整え始めたことが立ち直るきっかけになったという。障がいを受け入れる気持ちが出てきて逃げたり恐れたりするのが減っていき、「不便な事は沢山あるけど不幸だと思った事はない」とお話ししてくださいました。



5月 土曜ボランティア学習塾「さぼてん」



士別に馴染み深い、手話落語家の林家とんでん平さんを招き、5月の「さぼてん」を開催し、塾生9名と先生2名が参加しました。

札幌で林家三平さんの落語を聞いて「この人についていこう」と決め、リヤカーで小樽から東京まで行き弟子入りをしたとんでん平さん。「夢があるから頑張れる!」と、様々な人との出会いや体験から多くのことを学んだそうです。

リヤカーで全国行脚をした際には、耳の聞こえない人に落語をしたが反応がなく、そこから手話落語を考えたと話されました。昨年、24年ぶりに全国行脚を行い、出会いや再会がたくさんあった中で立ち寄った東北や熊本では、辛い生活の中で少しでも笑いをと落語を披露、「今の実態を他の人たちに知ってほしい、普通の生活ができていない」と感じたそうです。

塾生たちは「色々知らない話を聴けて自分のためになった」「手話落語を間近で聴けて良かった」「小さなことでもコツコツ取り組みたい」、先生方も「行動的な師匠にびっくり」「自分ももっと脳を活性化させたい、笑って新しいことにチャレンジしたい」と感想を話されました。

仕事やボランティアでも手話を覚えたら、もっとこころを持って、色々な人と接することができ、手話落語の面白さと大切さ、手話はすごいと感じられる時間となりました。

